

1 化学物質等及び会社情報

- ・製品識別子
- ・商品名: 39352,39357 Flexible Urethane Foam
- ・製品番号: 39352, 39357
- ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- ・成分の利用/調合 組み立て用泡
- ・安全データシートの供給元の詳細情報
- ・製造者/納入者:
SEM Products Inc.
1685 Overview Drive
Rock Hill, SC 29730
803 207 8225
- ・その他の情報問い合わせ先:
cust_care@semproducts.com : SEM Products, Inc. 1685 Overview Dr. Rock Hill, SC 29730 : phone 1-800-831-1122, M - TH 7am - 4pm EDT

2 危険有害性の要約

- ・純物質または混合物の分類



健康に危険

- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| 感受性(呼吸器) 区分1 | H334 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ |
| 発がん性 区分2 | H351 発がんのおそれの疑い |
| 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2 | H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ |



- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 皮膚腐食性/刺激性 区分2 | H315 皮膚刺激 |
| 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A | H319 強い眼刺激 |
| 感受性(皮膚) 区分1 | H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ |
| 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3 | H335 呼吸器への刺激のおそれ |
| 水生環境有害性(慢性毒性) 区分3 | H412 長期継続的影響によって水生生物に有害 |

- ・ラベル要素

- ・GHS ラベル要素

本製品は GHS (化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類及び表示されています。

- ・危険図表



GHS07 GHS08

- ・表示語 危険

(2ページに続く)

商品名: 39352,39357 Flexible Urethane Foam

(1ページの続き)

・危険と定められた成分をラベル表示:

diphenylmethanediisocyanate, isomeres and homologues
POLYMERIC MDI
4,4'-methylenediphenyl diisocyanate

・危険文句

H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H351 発がんのおそれの疑い
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

・注意文句

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P284 呼吸用保護具を着用すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P321 特別な処置が必要である（このラベルのを見よ）。
P405 施錠して保管すること。
P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出

・その他の危険性

・PBT（残留性、生物濃縮性、毒性物質）及び vPvB（高残留性、高生物濃縮性物質）アセスメント
・PBT（残留性、生物濃縮性、毒性物質）：情報なし
・vPvB（高残留性、高生物濃縮性物質）：情報なし

3 組成・成分情報

・化学的特性: 混合物

・説明:

混合物: 以下の成分からなる
Weight percentages

・危険な含有成分:

52624-57-4	POLYETHER POLYOL ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H335	30 - 40%
53862-89-8	POLYMERIC MDI ⚠ 感作性(呼吸器) 区分1, H334; ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 感作性(皮膚) 区分1, H317; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H335	13 - 30%
9016-87-9	diphenylmethanediisocyanate, isomeres and homologues ⚠ 感作性(呼吸器) 区分1, H334; 発がん性 区分2, H351; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2, H373; ⚠ 急性毒性(吸入) 区分4, H332; 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 感作性(皮膚) 区分1, H317; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H335	10 - 13%

(3ページに続く)

*

商品名: 39352,39357 Flexible Urethane Foam

(2ページの続き)

9049-71-2	POLYETHER POLYOL ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H335	10 -13%
101-68-8	4,4'-methylenediphenyl diisocyanate ⚠ 感作性(呼吸器) 区分1, H334; 発がん性 区分2, H351; 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2, H373; ⚠ 急性毒性(吸入) 区分4, H332; 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 感作性(皮膚) 区分1, H317; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H335	7 - 10%
77-58-7	dibutyltin dilaurate ⚠ 急性毒性(経口) 区分3, H301; ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分1B, H314; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1, H318; ⚠ 水生環境有害性(急性毒性) 区分1, H400; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1, H410; ⚠ 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H335	≤1%

4 応急措置

- ・ 応急手当処置に関する説明
- ・ 吸い込んだ場合:
外気を十分に送り込み、安全のため医師を呼ぶ
意識不明の場合には安定させた状態で横向きに寝かせ、移送する
- ・ 皮膚が触れた場合: 即刻石鹼と水で洗い、よくすすぐ
- ・ 眼に入った場合:
瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぎ、状態がよくなる場合には医者に相談する
- ・ 飲み込んだ場合: 状態が好転しない場合には医師に相談する
- ・ 医師への指示事項:
・ 最も重要な急性及び慢性の症状及び影響 追加的な関連情報は得られていません。
・ 何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

5 火災時の措置

- ・ 消火剤
- ・ 適切な消火剤: 周辺の状況に合わせた消火措置を取る
- ・ 本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 消防士向けアドバイス
- ・ 特別な保護装備: 特別な措置は必要としない

6 漏出時の措置

- ・ 個人的予防措置、保護具及び応急処置法 必要ない
- ・ 環境関連予防措置: 下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする
- ・ 封じ込め及び浄化のための方法及び材料:
液体吸収材(砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず)で吸収する
13 項に下がい汚染材は廃棄物として処理する
十分な換気を心がける
- ・ 他のセクションへの言及
安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照

(4ページに続く)

商品名: 39352,39357 Flexible Urethane Foam

廃棄処分に関しては 13 項参照

(3ページの続き)

7 取扱い・保管上の注意

- ・ 取り扱い方:
 - ・ 安全操作のための予防措置
特別な措置は必要ない
作業場では十分な換気、埃を吸い取るよう心がける
エアゾールの発生を防ぐ
 - ・ 火災および爆発防止に関する注意事項: 特別な措置は必要ない
- ・ 混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ・ 保管:
 - ・ 保管スペースおよび容器に関する要求事項: 特別な要求事項なし
 - ・ 同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない
 - ・ 保管条件に関するその他の注意事項: 容器は密閉した状態に保つ
 - ・ 特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

* 8 暴露防止及び保護措置

- ・ 技術設備の形体に関する追加注意事項: その他の申し立てなし、7 項参照
- ・ 管理パラメーター

・ 作業場において限界値の監視を要する成分:

101-68-8 4,4'-methylenediphenyl diisocyanate

OEL 長期値: 0.05 mg/m³

- ・ 追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている

・ 暴露管理

・ 人的保護装備:

・ 一般防止措置および衛生措置:

食物、飲み物、飼料からは遠ざける

汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ

休憩の前、作業終了後には手を洗う

眼に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する

・ 呼吸保護器具:

短時間もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的にあるいは長時間触れる場合には、酸素ポンプ付き呼吸保護装置を使用すること

・ 手の保護:

テストをおこなっていないため、物質/調合剤/化合物を取り扱う際の手袋の材質として勧められるものはない

浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する



保護手袋

手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない

(5ページに続く)



印刷日: 2015.04.01

改訂日: 2015.04.01

商品名: 39352,39357 Flexible Urethane Foam

(4ページの続き)

- ・手袋材
適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない
- ・手袋材の浸透時間 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること
- ・眼の保護:



密閉式保護めがね

* 9 物理的及び化学的性質

・基本的な物理及び化学特性に関する情報	
・一般指示事項	
・外観	
形:	液体
色:	製品説明書どおり
・におい:	特徴的
・嗅覚閾値	決まっていない。
・pH-値:	決まっていない。
・状態の変化	
融点/融解範囲:	決まっていない
沸点/沸点範囲:	190 °C
・引火点:	121 °C
・発火性(個体、気体):	情報なし
・発火温度:	400 °C
・分解温度:	決まっていない。
・自然発火性:	プロダクトは自然発火しない
・爆発の危険:	プロダクトは爆発する危険はない 使用の際に爆発性で発火しやすい水蒸気 / 空気混合体を形成する可能性あり
・爆発限界:	
下限:	0.4 Vol %
上限:	決まっていない。
・蒸気圧:	決まっていない。
・密度 約 20 °C:	1.08 g/cm ³
・相対的密度	決まっていない。
・蒸気密度	決まっていない。
・気化速度	決まっていない。
・以下成分における消和性/との混和性	
水:	混ぜ合わせられない、ほとんど混ぜ合わせられない
・分配係数 (n-オクタノール/水):	決まっていない。

(6ページに続く)

商品名: 39352,39357 Flexible Urethane Foam

(5ページの続き)

・粘性:	
力学的:	決まっていない.
運動性:	決まっていない.
・溶剤含有量:	
有機溶剤:	2.6 %
水:	0.7 %
・固形物含有量:	99.3 %
・他の情報	追加的な関連情報は得られていません。

10 安定性及び反応性

- ・反応性
- ・化学的安定性
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険反応の可能性 危険な反応は起きていない
- ・避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- ・不適合物質: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・危険な分解生成物: 危険な分解プロダクトはない

11 有害性情報

- ・毒性学的影響に関する情報
- ・急性毒性:

- ・分類上の LD/LC50 値:

101-68-8 4,4'-methylenediphenyl diisocyanate

口	LD50	2200 mg/kg (mouse)
---	------	--------------------

- ・初期刺激作用:
- ・皮膚において: 皮膚と粘膜を刺激
- ・眼において: 刺激作用
- ・感作作用:
吸い込むことで感作作用がある場合あり
皮膚接触によって感作作用の可能性あり
- ・毒性に関する補足注意事項:
調査に関する E U の最新の一般分類ガイドラインの計算によれば、プロダクトでは以下の危険が見込まれる
毒性がある
刺激的
- ・次の種類の潜在的な効果に対する情報
- ・CMR-作用 (癌誘発、因子変異、そして進化危険作用)
発がん性 区分2

12 環境影響情報

- ・毒性
- ・水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・持続性及び分解性 追加的な関連情報は得られていません。

(7ページに続く)

商品名: 39352,39357 Flexible Urethane Foam

(6ページの続き)

- ・環境システムにおける作用:
- ・生体内蓄積能 追加的な関連情報は得られていません。
- ・土壌内移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・一般注意事項:
水への危険度分類 1 (ドイツの規定) (自己査定): 水に対する危険性はわずかにある
薄めずに、あるいは大量に地下水、河川もしくは下水施設に流してはならない
- ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント
- ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- ・他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。

13 廃棄上の注意

- ・廃棄物処理方法
- ・勧告: 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない
- ・洗浄されていないパッケージ:
- ・勧告: 関係当局の規則に従って処分する

14 輸送上の注意

・ UN 番号	
・ ADR, ADN, IMDG, IATA	無効
・ 国連出荷正式名	
・ ADR, ADN, IMDG, IATA	無効
・ 輸送の危険性クラス	
・ ADR, ADN, IMDG, IATA	
・ 分類	無効
・ パッケージの分類	
・ ADR, IMDG, IATA	無効
・ 環境危険:	
・ 海の汚染物質:	いいえ
・ ユーザー用特別予防措置	情報なし
・ マルポール条約 (MARPOL73/78) 付属書II及び IBCコードに準じたバルク輸送	情報なし
・ UN "模範規制:	-

15 適用法令

- ・ 該当純物質または混合物に対する安全、衛生及び環境規制・法律
- ・ 化審法

・ 既存化学物質

9016-87-9 | diphenylmethanediisocyanate, isomeres and homologues

(8ページに続く)

商品名: 39352,39357 Flexible Urethane Foam

(7ページの続き)

9049-71-2	POLYETHER POLYOL	
101-68-8	4,4'-methylenediphenyl diisocyanate	4-118
25265-71-8	oxydipropanol	2-413
77-58-7	dibutyltin dilaurate	2-2330
1333-86-4	Carbon black	
280-57-9	Triethylendiamin	5-1141
149-57-5	2-ethylhexanoic acid	2-608

・特定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質

101-68-8	4,4'-methylenediphenyl diisocyanate	旧第二種監視化学物質
149-57-5	2-ethylhexanoic acid	旧第二種監視化学物質

・優先評価化学物質

101-68-8	4,4'-methylenediphenyl diisocyanate
----------	-------------------------------------

・白物質

内容成分はリストアップされていない

・既存化学物質安全性点検結果 (分解性・蓄積性)

101-68-8	4,4'-methylenediphenyl diisocyanate
77-58-7	dibutyltin dilaurate
280-57-9	Triethylendiamin

・既存化学物質安全性点検結果 (毒性)

内容成分はリストアップされていない

・GHS ラベル要素

本製品は GHS (化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類及び表示されています。

・危険図表



GHS07 GHS08

・表示語 危険

・危険と定められた成分をラベル表示:

diphenylmethanediisocyanate, isomeres and homologues
POLYMERIC MDI
4,4'-methylenediphenyl diisocyanate

・危険文句

H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H334 吸入するとアレルギー，ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H351 発がんのおそれの疑い
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H373 長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

(9ページに続く)

商品名: 39352,39357 Flexible Urethane Foam

(8ページの続き)

・注意文句

- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 - P284 呼吸用保護具を着用すること。
 - P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用してい
て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - P321 特別な処置が必要である（このラベルのを見よ）。
 - P405 施錠して保管すること。
 - P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器の露出
- ・化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

16 その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、プロダクトの特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

- ・データシート作成部門: Environment protection department.
- ・問い合わせ先: Steve Gaver (sgaver@semproducts.com)
- ・縮約と二文字語:
 - RID: Règlement international concernant le transport des marchandises dangereuses par chemin de fer (Regulations Concerning the International Transport of Dangerous Goods by Rail)
 - ICAO: International Civil Aviation Organisation
 - ADR: Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route (European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)
 - IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods
 - IATA: International Air Transport Association
 - EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances
 - ELINCS: European List of Notified Chemical Substances
 - CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)
 - LC50: Lethal concentration, 50 percent
 - LD50: Lethal dose, 50 percent
 - 急性毒性(経口) 区分3: Acute toxicity, Hazard Category 3
 - 急性毒性(吸入) 区分4: Acute toxicity, Hazard Category 4
 - 皮膚腐食性/刺激性 区分1B: Skin corrosion/irritation, Hazard Category 1B
 - 皮膚腐食性/刺激性 区分2: Skin corrosion/irritation, Hazard Category 2
 - 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1: Serious eye damage/eye irritation, Hazard Category 1
 - 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A: Serious eye damage/eye irritation, Hazard Category 2A
 - 感作性(呼吸器) 区分1: Sensitisation - Respirat., Hazard Category 1
 - 感作性(皮膚) 区分1: Sensitisation - Skin, Hazard Category 1
 - 発がん性 区分2: Carcinogenicity, Hazard Category 2
 - 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3: Specific target organ toxicity - Single exposure, Hazard Category 3
 - 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2: Specific target organ toxicity - Repeated exposure, Hazard Category 2
 - 水生環境有害性(急性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - AcuteHazard, Category 1
 - 水生環境有害性(慢性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - Chronic Hazard, Category 1
 - 水生環境有害性(慢性毒性) 区分3: Hazardous to the aquatic environment - Chronic Hazard, Category 3
- ・* 前の版からデータを変更